



2019年11月19日

鈴与商事ニュースリリース

鈴 与 商 事 株 式 会 社
経営企画部長 佐野 博紀

合同会社御前崎港バイオマスエネルギーへの出資について

鈴与商事株式会社（本社：静岡県静岡市清水区入船町1-1／本部：静岡県静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル／資本金20億円／代表取締役社長：加藤 正博、以下、鈴与商事）は、株式会社レノバ（本社：東京都中央区京橋2-2-1、以下、レノバ）が開発を主導し、静岡県御前崎港にてバイオマス発電事業を行う「合同会社御前崎港バイオマスエネルギー（静岡県御前崎市及び牧之原市／発電容量74.95MW）」に出資することと致しました。

本事業については、レノバ、中部電力株式会社（本社：愛知県名古屋市東区東新町1）、三菱電機クレジット株式会社（本社：東京都品川区大崎1-6-3）、鈴与商事の共同スポンサー4社にて、発電所の建設及び事業運営と再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を利用した売電事業を行います。

1. 本事業の目的

近年では、輸入した化石燃料への依存軽減による安定的なエネルギー電源の確保や温室効果ガスなどの環境問題を背景にした脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの促進が重要な課題となっております。しかし、国内におけるエネルギー自給率や再生可能エネルギー普及率は、他の先進国と比較して低い水準に留まっており、環境負荷が低いクリーンな再生可能エネルギーの普及に基づくエネルギー自給率の向上を図っていく必要があります。その中でもバイオマス発電は、太陽光発電や風力発電と比べて自然環境の影響を受けにくく、安定した再生可能エネルギー電源として期待されています。

本事業におけるバイオマス発電は、木質ペレットとパーム椰子殻を燃料として直接燃焼させる木質系バイオマス発電であり、カーボンニュートラル^(※)の考え方に基づいた、CO₂を増加させずにエネルギーを創出する発電方法となっております。年間を通じて安定的に環境負荷が少ないクリーンな再生可能エネルギーの発電が可能となるとともに、発電所の建設及び事業運営を通じて、雇用の新規創出や御前崎市及び牧之原市を中心とした地域経済の活性化に貢献して参ります。

2. 今後の取り組み

鈴与商事は、静岡県の清水港において複数の倉庫屋根を活用した分散設置型メガソーラー（清水港メガソーラー）をはじめとした太陽光発電や、静岡県菊川市において食品・農業系を中心とする有機系廃棄物を燃料として発酵させるバイオガス発電といった再生可能エネルギー事業に取り組んでおります。

レノバは、「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し重要な社会的課題を解決する」という「ミッション／経営理念」を掲げ、太陽光、バイオマス、風力、地熱といった再生可能エネルギー資源による発電事業を地域に根ざして進めています。

今回、これら様々な再生可能エネルギーによる発電事業を展開しているレノバと協働してバイオマス発電事業を推進することにより、地域における持続可能なエネルギー社会の実現に向けてより一層取り組みを強化していくとともに、そこで得た知見を活かし、エネルギー事業者としての企業価値を更に高めて参ります。

(※) カーボンニュートラルとは、バイオマスは燃焼するとCO₂を排出するが、もともとそのCO₂は植物などが成長する過程で大気中から吸収したものであり、トータルとしてCO₂量は変化しないという考え方。

■御前崎港バイオマス発電事業の概要

- ・ 発 電 所 名 : 御前崎港バイオマス発電所
- ・ 事 業 主 体 : 合同会社御前崎港バイオマスエナジー
- ・ 建 設 予 定 地 : 静岡県御前崎市港、牧之原市新庄字浜
- ・ 出 資 会 社 : 株式会社レノバ 38.0%
中部電力株式会社 34.0%
三菱電機クレジット株式会社 18.0%
鈴与商事株式会社 10.0%
- ・ 発 電 容 量 : 74.95MW
- ・ 想定年間発電量 : 約530,000MWh
(一般家庭約17万世帯の年間使用電力量に相当)
- ・ 売 電 単 価 : 24円/kWh (一般木質バイオマス)
- ・ 燃 料 : 木質ペレット、パーム椰子殻(PKS)
- ・ 着 工 : 2021年4月(予定)… 設計着手は2019年11月
- ・ 運 転 開 始 : 2023年7月(予定)

※事業概要は現時点での計画であり、今後変更となる可能性があります。

[御前崎港バイオマス発電所のイメージ図]



以 上

《本件に関する問い合わせ先》
鈴 与 商 事 株 式 会 社
経 営 企 画 部
054-273-7832